

(日・EUフレンドシップウィーク)  
Events of May 2017

Bakuon Film Festival  
in Kyoto 2017

# 爆音映画祭



ポーラX

in 京都 2017

ダンサー・イン・ザ・ダーク



ダゲレオタイプの女

5.18(木) - 19(金)

同志社大学寒梅館

ハーディーホール



同志社大学学生・教職員(同志社内諸学校含む)無料

写真:『ダゲレオタイプの女』 © FILM-IN-EVOLUTION・LES PRODUCTIONS BALHAZAR・FRAKAS PRODUCTIONS・LFDLPA Japan Film Partners・ARTE France Cinema

# 爆音映画祭 in 京都



**気**がつくともはや映画館はほぼ完全にデジタル化され、フィルム上映がされることはほぼないと言っていいような状況。レコードからCDに変わった時もこんな感じだった。シネコンの環境はどこも同じで、吸音性に優れた壁によって、スピーカーからの音がストレートに耳元に届く。制作者たちの意図した音と映像が、そのまま観客に伝わるのが目指されているのだ。劇場の環境によって違う音の共振や共鳴がその劇場独自の音を作り出すことは、できる限り排除される。偶然や間違いはいらない。

フィルムは経年劣化する。傷がつく、ヨレる、切れる、保存が悪ければオイルでベトベトになる。上映のたびに傷つき年老いて、作者の思惑からは次第にずれて行く。映画にとって欠かせない「上映」という工程が、フィルム自体に刻み付けられていくのだ。「上映」という時間が物体化していくと言ったらいいか。今回上映する2本のフィルム上映作品『ポーラX』と『ダンサー・イン・ザ・ダーク』、そして初期の写真技術を題材にした『ダゲレオタイプの女』は、それぞれそんな映画のデジタル化から剥がれ落ちていく映画の時間が映し出されているように思う。気がつくとも忘れ去られ、あるいはどこかで間違いを犯し、意図とは違うものを生み出してしまふ時間。映画を見るとはそんな時間とともにあることではなかったか？ そこに映される間違いや寄り道を、爆音の共振や共鳴とともに楽しんでいただけたらと思う。……………**樋口泰人**(boid主宰/爆音上映&爆音映画祭プロデューサー)



## ダンサー・イン・ザ・ダーク

Dancer in the Dark

2000年 | デンマーク | 140分

監督: ラース・フォン・トリアー

出演: ビョーク、カトリーヌ・ドヌーヴ ほか

ビョーク主演のミュージカル。圧倒的な偶然の連鎖によって絶望一直線の主人公。病気による視覚の衰退とともに、ありえたかもしれない可能性がミュージカルの形で視覚化される。夢の王国は、常に絶望と闇の国とともにある。その中であなたはどのように生きるのか? 『ラ・ラ・ランド』と見くらべてみて欲しい。

## ポーラX Pola X

1999年 | フランス・ドイツ・日本・スイス | 134分

監督: レオス・カラックス 出演: ギョーム・ドバルデュール、カテリーナ・ゴルベワ、カトリーヌ・ドヌーヴ ほか

監督と音楽家との共振が、映画をとことん震わせる。映像と音との拮抗が、すべてのものを道連れにする。謎の小説家をめぐる物語は、気がつくとも世界の秘密をめぐる物語へとすり替わっている。わたしたちはどこで道を間違えたのか? もはや間違えたのかどうかもわからない。そんな狂ったパースペクティブが、目の前に開ける。



## ダゲレオタイプの女

La Femme de la plaque argentique

2016年 | フランス・ベルギー・日本 | 131分 ※Blu-ray上映

監督・脚本: 黒沢清 出演: タハム・ラヒム、コンスタン・ルソー、オリヴィエ・エグルメ、マチュー・アマリック ほか

ダゲレオタイプとは世界初の写真撮影法。銀盤に像を定着させるために、被写体は10分以上動くことはできなかった。その静止した時間、人は生きているのか死んでいるのか? そしてそれが定着された時、そこに写ったものはいったい何なのか? 生と死が混在しながら物語は進む。その境界線はもはやどこにもない。

上映日程 | 開場は各回15分前を予定  
※各作品上映前に樋口泰人による解説あり

5月18日(木) 各回入替制  
15:30 ダンサー・イン・ザ・ダーク  
18:15 ポーラX

5月19日(金)  
17:30 ダゲレオタイプの女  
黒沢清監督(予定)、樋口泰人によるアフタートークあり

料金 |  
『ダンサー・イン・ザ・ダーク』『ポーラX』  
▶一般1,300円、Hardience会員・学生1,000円  
『ダゲレオタイプの女』  
▶一般1,500円、Hardience会員・学生1,300円  
※同志社大学学生・教職員(同志社内諸学校を含む)は全作無料

**爆音上映**とは、通常の映画用の音響セッティングではなく、音楽ライブ用の音響セッティングをフルに使い、ボリュームを限界まで上げ大音響の中で映画を見・聴く試みです。一般劇場上映では聴くことの出来ない遠方と、その爆音によって視覚までもが変容して映画そのものも違って見える。大音響でなければ聴こえてこない幽かな音を聴くという、大胆かつ繊細な上映となります。

主催: boid、同志社大学今出川校地学生支援課  
同志社大学図書館 機材協力: モノリス



## 同志社大学寒梅館 ハーディーホール

お問合せ: 同志社大学今出川校地学生支援課  
Tel: 075-251-3270 <http://d-live.info/>  
E-mail: [ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp)

京都市上京区御所八幡町103

地下鉄今出川駅下車、②番出口より北へ60m程。

駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。



〈アナログばか一代〉  
樋口と湯浅 ダブル還暦記念  
1957年からのアナログあれこれ  
出演: 湯浅学、樋口泰人、いしいしんじ

5月20日(土) 開場 17:30 / 開演 18:00  
料金: 予約2,000円 当日2,500円  
※入場時学生証提示で500円OFF  
主催・お問合せ: 外 soto  
Tel: 090-7875-0018 E-mail: [info@soto-kyoto.jp](mailto:info@soto-kyoto.jp)  
<http://soto-kyoto.jp/>



京都市左京区鹿ヶ谷法然院西町18 市バス「錦林車庫前」より徒歩1分